

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. ちょっと高額だが、いま欲しいものがある。 YES / NO  
YES と答えた人→欲しいものは？ \_\_\_\_\_
- B. 「A」を手に入れるのに持っているお金では足りない場合は、どうする？  
\_\_\_\_\_
- C. 預貯金をしている（持っている）。 YES / NO
- D. その預貯金しているお金が、どう活用されているか知っている。 YES / NO

### 設問2

左列の機関や団体等がお金を集める手段を、右列の語句と結んでみましょう。

- |        |   |      |
|--------|---|------|
| 政府     | • | 株式   |
| 地方公共団体 | • | 国債   |
| 企業     | • | 地方債  |
|        |   | • 社債 |

## 自己診断シート

---

### 設問1

A. 教室の中にある「商品」や「サービス」を列記しよう。

---

B. 現在の社会や暮らしの様子を見て「景気がよい」と感じる。

YES / NO

YES と答えた人→それはどんなことから感じましたか。

\_\_\_\_\_

NO と答えた人→それはどんなことから感じましたか。

\_\_\_\_\_

C. 「デフレスパイラル」という言葉を聞いたことがある。

YES / NO

### 設問2

左列の語句の説明として、適当なものを右列の語句から選んでみましょう。

GDP・

・物価上昇

GNI・

・物価下落

インフレ・

・国内総生産

デフレ・

・国民総所得

## 自己診断シート

---

### 設問1

A. 知っている株式会社を挙げてみよう。

---

B. 「株式」に対してのイメージを挙げてみよう。

---

C. 株式を所有している人を何という？

---

D. 株式会社の歴史は 100 年ほどである。

○/×

### 設問2

株式を所有することによるメリットや権利として、正しいものは○、誤りに×をつけましょう。

- その会社の利益を分配してもらえる ( )
- その会社の商品やサービス等を優待で利用できる ( )
- その会社の経営に参加できる ( )
- その会社から給与を得る権利がある ( )

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. 株式を売買する市場（証券取引所）は各都道府県に1つずつある。 YES / NO
- B. 誰でも証券取引所に直接株式の売買の注文を出すことができる。 YES / NO
- C. 証券取引所では、株式の価格をオークション方式で決めている。 YES / NO
- D. 株式を上場している会社は倒産することはない。 YES / NO

### 設問2

株式の売買のルールで正しいのはどれでしょう。

- A. 株式を売りたい人が多い場合、一番価格の高い注文を一番に優先する。
- B. 同じ価格で注文が出された場合、一番早い注文を優先する。
- C. 株式を買いたい人が多い場合、一番価格の安い注文を一番に優先する。

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. 買いたいという人が多いと、株価は上がると思う。 YES / NO
- B. 会社の業績と株価の動きは関係があると思う。 YES / NO
- C. 株価を調べる方法を知っている。 YES / NO
- D. 日経平均株価やTOPIXという言葉聞いたことがある。 YES / NO

### 設問2

株価を変動させる要因として考えられるものに○を付けましょう。

金利 ( )

国際情勢 ( )

業績 ( )

景気 ( )

政策 ( )

外国為替 ( )

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. 「債券」という言葉を聞いたことがある。 YES / NO
- B. 債券は株式のように売買でき、そのための市場もある。 YES / NO
- C. 債券は個人でも購入することができる。 YES / NO

### 設問2

以下の中から、債券を発行しているところを選んで○をつけてみましょう。

企業 ( )

金融機関 ( )

一般家庭 ( )

地方公共団体 ( )

国 ( )

政府関係機関 ( )

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. 「国債」という言葉を聞いたことがある。 YES / NO
- B. 国債がなぜ発行されているか知っている。 YES / NO
- C. 日本の国債発行の問題点について聞いたことがある。 YES / NO

### 設問2

国債を発行する理由として正しいものに○をつけてみましょう。

- 道路や橋など、社会資本を造るため ( )
- 税金だけでは国の支出がまかなえないから ( )
- 毎年発行することが憲法で決められているから ( )
- 国債はいくら発行しても問題はないから ( )

## 自己診断シート

---

### 設問1

A. 会社が発行する債券を何と言うでしょう。 \_\_\_\_\_

B. 債券は借金なので、期日が来たら返済しなければならない。

YES / NO

C. 社債を発行して集めたお金は、あくまで他の人のお金なので「他人資本」という。

YES / NO

### 設問2

以下は債券と株式の特徴を挙げたものです。債券の特徴と思われるものにはA、株式の特徴と思われるものにはBと記入してみましょう。

- 満期が来たら額面の金額を返さなければいけない ( )
- 発行して得たお金を会社は返さなくてよい ( )
- 経営が赤字でも黒字でも利子を払う義務がある ( )
- 経営が不振なら配当は払わなくてもよい ( )

## 自己診断シート

---

### 設問1

A. 債券は株式と同じ証券の一種で、証券会社などを通じて売買することができる。

YES / NO

B. 「利回り」という言葉を聞いたことがある。

YES / NO

C. 「金利」という言葉の意味を知っている。

YES / NO

### 設問2

100万円を1年間預けて3万円の利息がついたら、利率は何パーセント？

\_\_\_\_\_ %

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. 自分が生きていくために親がどんなことにお金を使っているか、挙げることができる。 YES / NO
- B. 将来、どんな自分になりたいかという夢を持っている。 YES / NO
- C. 将来、どんなことで大きなお金が必要になるのか挙げるすることができる。 YES / NO
- D. リスクということばを知っている。 YES / NO

### 設問2

自分のお金の貯め方、使い方はどのタイプだと思いますか。（複数回答可）

- A. 毎月コツコツ貯める。
- B. お年玉など大きな収入があったときにまとめて貯める。
- C. お金を貯めるのは苦手。
- D. ほしいものはお金が貯まってから買う。
- E. ほしいものはお金がなくても親から借りるなどしてすぐを買う。

## 自己診断シート

---

### 設問1

- A. お金を絶対に減らさずに、大きくふやす方法があると思う。 YES / NO
- B. 金融商品にはどんなものがあるかを挙げられる。 YES / NO
- C. 日本人は預貯金好きな国民だと思う。 YES / NO

### 設問2

以下は預金（普通預金）と株式の特徴を挙げたものです。預金の特徴と思われるものにはA、株式の特徴と思われるものにはBと記入しましょう。

- (1) 利子がつく ( )
- (2) 大きく損をすることがある ( )
- (3) いつでもお金に換えられる ( )
- (4) 大きくふえない ( )

## 確認テスト

---

### 問題1

もしも金融という仕組みがなければ、経済にどんな影響を与える？

A：企業は大きな設備投資がしやすくなり、生産が拡大する。

B：必要とするモノが買いやすくなり、経済全体が活発になる。

C：国が行う道路や橋などの整備や、企業の工場建設などが滞り、経済発展が鈍る。

### 問題2

「3つの経済主体」のうち、常にお金に余裕があって、資金の供給者としての役割を担っている主体はどれ？

A：家計

B：企業

C：政府

### 問題3

次のうち、直接金融に分類されるのはどれ？

A：投資家が株式を買った。

B：預金者が銀行に預金をした。

C：銀行が企業にお金を貸した。

### 解答欄

問題1	問題2	問題3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

次のうち、GDP の説明として正しいのはどれ？

- A：日本語で「国民総生産」と訳され、日本国内で新たに生み出されたモノやサービスの価値（付加価値）の合計額。
- B：日本語で「国内総生産」と訳され、日本国内で新たに生み出されたモノやサービスの価値（付加価値）の合計額。
- C：海外の会社の、日本国内での売上は含めてはいない。

### 問題 2

次のうち、景気が良い時の特徴として正しいのはどれ？

- A：モノが売れるため、会社がもうかり、そこで働く人たちのお給料も増える。
- B：モノが売れるため、モノの価格が安くなり、さらに多くのモノが買いやすくなる。
- C：世の中に出回っているお金が増えるため、家計にお金がなく、モノが売れない。

### 問題 3

モノの価格が決まる背景には、需要と供給の関係があります。  
その説明として、正しいのはどれ？

- A：需要が供給より多いと、モノが売れ残る。
- B：供給が需要より多いと、モノの価格が下がる。
- C：供給が需要より多いと、モノの価格は上がる。

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

「株式」って、なに？

A：銀行で現金に換えてくれる引換券

B：株主であることを証明するもの

C：会社の利益を示す計算式

### 問題 2

株式会社が倒産！株主は会社の借金を払う義務がある？ない？

A：全額払う義務がある

B：半分払う義務がある

C：払う義務はない

### 問題 3

次のうち、株主のメリットとして正しくないのはどれ？

A：社員と同じくボーナスをもらえる

B：配当を請求できる

C：株主総会に参加できる

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

すでに発行された株式を投資家が売買する市場を何という？

A：発行市場

B：流通市場

C：金融市場

### 問題 2

証券取引所で売買されている株式は、どこへ買いに行けばいい？

A：証券取引所

B：証券会社

C：金券ショップ

### 問題 3

株式を公開することを、「株式上場」とも言いますが、この「上場」の読み方は？

A：うえば

B：あげば

C：じょうじょう

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

株価は毎日どうやって決まる？

- A：会社の取締役会で決まる
- B：需要（買い手）と供給（売り手）のバランスで決まる
- C：証券取引所が決める

### 問題 2

金利が下がったときに見られる傾向として、間違っているものは？

- A：預貯金の魅力が減って投資家が株式の購入へ傾き、株価が上がりやすくなる。
- B：会社が事業を拡大しやすくなり、株価が上がりやすくなる。
- C：会社が事業を拡大しづらくなり、株価が下がりやすくなる。

### 問題 3

外国為替相場も株価に影響を与える要因のひとつです。  
では、円高になると見られる傾向はどれ？

- A：輸入関連企業の株価が上がりやすくなる。
- B：輸出関連企業の株価が上がりやすくなる。
- C：輸入関連企業の業績は外国為替相場の動きに左右されない。

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

「債券」って、なに？

- A：銀行からお金を借りる際に発行される証明書
- B：さまざまな借金を全て返済したことの証明書
- C：投資家から資金を借り入れるために発行する証券のこと

### 問題 2

債券はいくつかの区分に大別できますが、区分として誤っているものはどれ？

- A：公共債
- B：個人債
- C：民間債

### 問題 3

債券が主に取引されているのはどこ？

- A：証券取引所
- B：日本銀行
- C：証券会社の店頭

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

道路や橋などを造る公共事業費などの財源にあてる場合に限って、発行される国債はどれ？

A：赤字国債

B：長期国債

C：建設国債

### 問題 2

公共事業以外に充てる資金を確保するために、特別立法によって発行される国債はどれ？

A：赤字国債

B：建設国債

C：長期国債

### 問題 3

日本の国債残高は、令和5年度時点で、どれくらいになると予想されている？

A：約 114 兆円

B：約 887 兆円

C：約 1068 兆円

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

社債の発行によって、会社が義務を負うものはどれ？

- A：利子の支払い
- B：配当の支払い
- C：株式の追加発行

### 問題 2

社債と違って調達した資金を返済する必要がない株式。でも、発行しすぎると、どんなデメリットがある？

- A：会社の利益に対する税率が上がってしまう。
- B：株主の数が減ってしまう。
- C：配当の支払い総額が増えてしまう。

### 問題 3

社債の発行と株式の発行とでは、会計上の違いもあります。正しいのはどれでしょう？

- A：配当は経費として扱うことができる。
- B：社債の利子は経費として扱うことができる。
- C：配当は負債として扱うことができる。

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題 1

債券を満期前に換金、つまり売却する時の注意点は？

A：記載されている利率より低い率が適用され、差額を返済しなければならない。

B：その時の時価で売ることになるので、元本は保証されない。

C：満期まで残り5年以上ないと売却できない。

### 問題 2

債券の利回りは、投資した金額に対して、利子と「？」を組み合わせた1年間の収益の割合のことを指します。さて、「？」はなんでしょう？

A：買った時の価格

B：売った時の価格

C：売った時の価格と買った時の価格の差

### 問題 3

世の中の金利が上がった場合、債券の価格はどうなる？

A：上がる

B：下がる

C：そのまま変化しない

### 解答欄

問題 1	問題 2	問題 3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題1

充実した人生を過ごすための「ライフプラン」を考えるときに、最も適切なのはどれ？

A：将来、家族・住まい・仕事などをどうしたいか。

B：自分の貯蓄は今いくらあるか。

C：これから株価が一番上がりそうな会社はどこか。

### 問題2

お金を準備する方法に「資産運用」があり、「貯蓄」と「投資」の2つの方法があります。その方法と説明の組み合わせが正しいのはどれ？

A：〔貯蓄〕元本が保証されていない方法

B：〔投資〕預金や貯金よりも安全性を重視した方法

C：〔投資〕お金をふやすことに重点を置いた方法

### 問題3

次の金融商品のうち、一般的にハイリスク・ハイリターンなものはどれ？

A：預貯金

B：債券

C：株式

### 解答欄

問題1	問題2	問題3	正解数

## 確認テスト

---

### 問題1

主な金融商品である「預貯金・債券・株式・投資信託」のうち、「株式」の「流動性」について、正しい説明はどれ？

- A：いつでも売却できるものもあれば、一定期間は売却ができないものもある。
- B：元本が保証されていて、非常に安全性が高いといえる。
- C：会社によっては売却しようとしても買い手がなかなか見つからない場合もある。

### 問題2

「投資信託」の特徴について、正しい説明はどれ？

- A：個別の株式や債券を単独で買うことに比べると、大きなお金が必要になる。
- B：どの投資信託でも安全性が非常に高い。
- C：ファンドマネージャーと呼ばれる資産運用の専門家が、複数の株式や債券などに投資を行う。

### 問題3

資産運用に関係することで、間違っているのはどれ？

- A：利益には税金がかかる。
- B：株価は各社のHPでのみ確認できる。
- C：未公開株式の購入を勧める詐欺が増えているので、注意しなければいけない。

### 解答欄

問題1	問題2	問題3	正解数

### 【自己診断シート】

まず、授業への引き込みとして、お金が足りないという自分にも起こりうる状況を切り口にします。労働による収入や資産形成という手段を前提にしながら、お金を借りる（金融）という方法があることを挙げて、学習の本題へと入っていくキッカケとします。

Aの解説：

「お金が足りない時はどうしたらいいか」を考える姿勢を持たせるという程度の動機付けです。とくに、将来を見据え目的を持って購入したい物（学習・芸術・スポーツ関連道具など）は金融の役割を説明するのに適した物といえます。

Bの解説：

「貯める」「借りる」という手段は、比較的容易に出てくると思われます。どうやって貯めるのか、借りる場合はどうするのか、といった問いから金融機関の名前を挙げさせる設問です。

Cの解説：

預貯金をしている生徒には、なぜ預貯金をしているのかを問い、必要性を意識させます。

Dの解説：

銀行の金庫に保管してあると思う生徒も少なくないでしょう。金融には「お金が余っている」「お金が足りない」双方があることを気づかせます。

設問2の解答：政府→国債、地方公共団体→地方債、企業→株式、社債  
左列と右列で数が異なる（1対2で結ばれるものがある）点を補足ください。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1：C 2：A 3：A

[解説]

1：金融がなければ、必要なものがあっても手持ちのお金の範囲でしかモノの購入や投資ができません。企業は将来の収入を見込んだ投資による生産拡大が、国は道路や橋などの巨額な社会基盤整備ができなくなります。これでは、経済発展もペースダウンしてしまうでしょう。

2：日本人の貯蓄率は高く、家計はお金が余っている経済主体です。家計は収入の一部を貯蓄や投資という形で企業や政府に資金を提供します。

3：直接金融の特徴の一つは、お金の出し手が、お金を使う相手を選べることにあります。投資家が株式を買う際は、どの企業の株式にするかを自分で決めて購入します。Cは、預金者から集めた預金の使い道を銀行が決めているので、間接金融です。

### 【自己診断シート】

生徒たちが普段の生活から考えやすい内容です。身の回りの状況に目を向け、日本経済の大きさや豊かさを認識させます。しかし、そんな経済にも好不調の波があり、それを自分なりに見極める力をつけるキッカケとしたいと考えます。経済用語なども、比較的ニュースなどで耳にするものを用いています。

Aの解説：

私たちはたくさんの商品やサービスがある環境で暮らしていることを、あらためて認識させます。教室の中にもたくさんの商品やサービスがあり、「原料をつくる人、商品をつくる人、運ぶ人、売る人」等々、たくさんの人が関わっていることを話し、生徒たちからは見えないところでも経済活動が行われていることを意識させるのが効果的です。

Bの解説：

景気という観点で身の回りの状況に目を向け、「現在の景気に対する意見を持つ」とする「景気を判断しようとする」キッカケとします。設問は「どちらが正しいか」ではなく、「どんな要因から、どちらと感じているか」をハッキリさせるのが目的です。

Cの解説：

インパクト性のあるワードで、用語への意識も引き起こします。

設問2の解答と解説：

GDP-国内総生産、GNI-国民総所得、インフレ-物価上昇、デフレ-物価下落

比較的、生徒たちもニュースなどで触れる機会が多いであろう語句を問い、記憶の淵にある経済関連用語を、呼び起こしてから授業へ入ります。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : B    2 : A    3 : B

[解説]

1 : GDPは「Gross Domestic Product」の略で、日本語では「国内総生産」。国内で新たに生み出されたモノやサービスの価値（付加価値）の合計額のことです。日本企業のものであっても海外での売上は含まず、外国の会社でも日本国内での売上なら含みます。

2 : 「景気が良い」ときは、モノの売り買いが活発で、世の中にお金も多く出回ります。モノが売れると会社がもうかるので、そこで働く人たちのお給料が増え、お金を使う機会も増えます。ただ、モノが売れ続けることで、モノの価格が上がってくるという傾向があります。

3 : 簡単に言えば、需要はモノを買う側、供給はモノを売る側ですので、需要（買う数）が供給（売る数）より多ければモノが足りません。逆に、供給が需要より多ければ、モノは売れ残ります。売れ残る状況ではモノを売ってしまいたいので、価格は下がる傾向にあります。

### 【自己診断シート】

言葉としては、生徒たちでも毎日のように見聞きする「株式会社」。設問1は、身の回りを見直してみると、その存在の多さや、生活に密接に関わっていることが再認識できます。しかし、あらためて株式とは何かを考えると知らないことがたくさんある、という点に気付かせます。

設問2では、株式を所有した場合のメリットを考えさせることで、コンテンツで「どんなことを学ぶのか」「自分の今の知識はどの程度か」を事前認識させます。

Aの解説：

株式会社という語句を「どんなところで見聞きするか」という糸口を与えることで、身の回りに存在していること、生活に深く関わっていることを意識させます。学校周辺にある会社や、TVコマーシャルを提供している会社などを挙げて考えさせるのも有効でしょう。

Bの解説：

授業の前に株式に対するイメージを聞くことで、授業後にどう変化したかを確認します。

Cの解説：

解答は「株主」。基礎知識として「株式」に次いで押さえておきたい重要語句「株主」を確認します。

Dの解説：

質問の答えは、1602年設立の「オランダ東インド会社」。コンテンツ内でも解説を用意しています。

設問2の解答と解説：

○、○、○、×

株式会社は株主に「配当」として利益の一部を分配します。株主優待は、割引券の配付や優待価格での物品販売など、多くの会社が入っています。また、「株主総会」に出席することで、経営に参加することができます。

株式は流通市場で売却することができます。また、株主は従業員ではありませんので、給与を得ることはできません。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : B    2 : C    3 : A

[解説]

1 : 株式会社に出資したことを証明するために発行されるのが株式です。現在、市場に公開されている株式は電子化されていますので、手にとって見られる紙製の券（株券）はありません。株式を保有している人を株主と呼びます。

2 : 株式会社の特徴に「株主の有限責任」というものがあります。株主は、出資金は戻ってきませんが、それ以上の責任を負う義務は一切ありません。

3 : 株主は従業員とは異なる存在ですので、給与や福利厚生などを受けることはできません。株主は出資者として、配当を得る権利や、株主総会で自分の持っている株式の数に応じて議決権（会社の経営に参加できる権利）を行使できる権利などを持っています。

### 【自己診断シート】

株式市場がどこにあるのかということと、そこで行われている取引について、興味関心を引き出すことを目的とした設問です。設問2では、オークション形式で行われている売買取引がどのようなものか、ルールがあるということを知り、それを認知して学習へと進むことを想定しています。

Aの解説：

株式市場を有する証券取引所は札幌・東京・名古屋・福岡の4箇所にあります。企業が集中する大都市にありますが、全都道府県にあるわけではありません。

Bの解説：

テレビのニュースなどで、よく証券取引所が登場しますが、そこに直接注文できるのかどうかを考えさせます。証券会社が注文の委託を受けていることを後で学ぶための設問です。

Cの解説：

株価はオークション方式で決められます。しかし「オークション」という語句の一般的なイメージは“競り”であるため、株式市場のオークション方式とは多少イメージが異なります。この設問では、売買取引にルールがあることに気付かせるのを目的としています。

Dの解説：

上場するには健全な経営状況や組織体制であるか、厳しく審査を受けますので、信頼性もありますが、上場企業であっても、環境の変化などで経営が赤字になり、倒産することはあります。上場している＝倒産しないという保証ではありません。

設問2の解答と解説：

〔解答〕 B

設問1のCのオークション方式の説明として正しいものを選ぶ問題です。Aは「高い→安い」、Cは「安い→高い」なら正解です。売買注文を成立させる際の優先順位は「価格」に次いで「時間」が優先されます。

---

### 【確認テスト】

〔解答〕 1：B    2：B    3：C

〔解説〕

1：発行市場は、新たに株式を公開する会社の株式や、すでに株式公開している会社がさらに株式を発行する市場です。一方、流通市場はすでに発行された株式を投資家が売買する市場です。

2：一般の人が株式を売買するときは、証券会社に注文を出します。証券会社はその注文を証券取引所に送り、証券取引所が売買を成立させます。

3：上場は「（株式）市場に上がる」という意味からきています。

### 【自己診断シート】

株価の変動がどのような事に関わりをもっているか。学習の前段階として意識付けしておくことが目的です。「世の中の中のさまざまな出来事が企業の業績につながり、株価にも反映される」ということを、設問や選択肢から生徒が感じ取ってくれることを狙います。

Aの解説：

株価は、需要と供給のバランスで変化することをまず知るための設問です。  
売りたい人が多ければ株価は下がり、買いたい人が多ければ株価は上がっていきます。

Bの解説：

株価の最も大きな変動要因で「会社の業績」について確認させる設問です。

Cの解説：

株式を公開している会社の株価は、毎日公表されていることを確認する設問です。

Dの解説：

コンテンツ内では「TOPIX（東証株価指数）」や「日経平均株価」に触れるため、事前に意識してもらうための設問です。

設問2の解答と解説：

全て○

より具体的な要因（語句）を出し、「選択肢がどのような種類のものか」「どのように影響を与えるか」を生徒たちが思考・推理した上で授業へ望むことを狙います。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1：B 2：C 3：A

[解説]

1：株価は買い手と売り手の間で決まります。買いたい人が多ければ株価は上がり、売りたい人が多ければ株価は下がります。

2：金利が下がるということは利子が少なくなるため、会社が金融機関から資金を借りやすくなります。多くの資金があれば事業拡大がしやすくなることで、業績向上も期待できることになります。

3：輸出関連企業と輸入関連企業で、逆の傾向が見られます。例えば円高の場合、輸入企業は、海外から原料や商品をより安く購入できるようになるため、利益の幅が膨らむことになります。一方で、輸出業者は海外で売った商品の代金が円換算で減るため、売上が減ってしまい、業績も下降しやすくなります。

### 【自己診断シート】

株式に比べれば報道で取り上げられるようなことも少ない「債券」について、教科書で学習した「国債」「公債」とつなぎながら、その存在を確認します。ここでは「債券って何だろう」「株式との違いは？」「誰が買っているのか」といった疑問から入っていきます。

Aの解説：

「債券」を聞いたことがない生徒たちが多い場合は「国債」などを例に出して「債」という文字が入っていることを確認するのも一つの方法です。

Bの解説：

債券に市場があることは教科書でもあまり取り上げられていないため、設問で関心を引き出します。

Cの解説：

債券市場の特徴について関心を持たせます。債券市場では、参加者の大半が機関投資家や金融機関ですが、個人向け国債のように個人が少額から購入できる債券もあります。

設問2の解答と解説：一般家庭以外すべて○

どのような機関や団体が債券を発行しているか、予測させておきます。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : C    2 : B    3 : C

[解説]

1 : 債券は投資家から借金をするときに発行する、一種の借入証書（借りたことの証明書）です。会社は証券会社を通じて投資家に債券を販売し、集めたお金を活動資金とします。

2 : 公共債には「国債、地方債、政府関係機関債」があり、民間債には「社債、金融債」などがあります。このほか、外国の政府や企業が発行する「外国債」というものがあります。個人では債券を発行することはできません。

3 : 証券取引所で取引される株式とちがって、その売買のほとんどは、証券会社の店頭で行われています。

# 金融経済ナビ マンガで学ぶ！金融経済 債券の講座 国債とは 自己診断シート/確認テスト〈解説・指導編〉

---

## 【自己診断シート】

国債に関しては教科書で取り上げられており、ある程度の知識が期待できるため、自己診断シートでその知識を確認します。また、国債には建設国債と赤字国債があることを設問で確認します。

Aの解説：

「国がする借金」「国債を発行して必要な資金を調達する」などの答えが期待できます。

Bの解説：

税込では足りない分を補うのが目的であることを確認します。

Cの解説：

税込の落ち込みと、支出の増加で、国債の残高が増え続けている現状を再認識させます。

設問2の解答と解説：「道路や橋～」と「税込では国の～」の2つのみ〇  
国債を発行する理由として、生徒に選択肢の内容を自分なりに思考させます。

---

## 【確認テスト】

[解答] 1：C 2：A 3：C

[解説]

1：道路や橋などの社会資本を造る費用が足りないときに発行する国債を建設国債といいます。本来は税金が財源であり、建設国債はそれでは足りない場合に発行します。選択肢にある「長期国債」は、償還期間（満期）が5～10年の国債です。

2：建設国債は道路や橋など後の世代に利用できるものに使われるのに対して、赤字国債（特例国債）は、社会保障や景気対策など、公共事業以外に充てる財源を確保するために発行されます。

3：膨らみ続ける日本の借金。令和5年度には約1068兆円と見込まれています。Bは令和元年度の実績、Aは日本の令和5年度の国家予算（一般会計総額）です。国家予算の9倍を上回る借金があることとなります。

### 【自己診断シート】

債券とは何かを知っている前提でのコンテンツです。シートで「社債」という言葉を引き出します。社債の理解のために、株式の特徴と比較をさせますので、株式に関する事前学習が必要です（「株式の講座/株式会社と株式」参照）。

Aの解説：

学習に入る前に、「社債」を再確認します。

Bの解説：

債券は借金であることを再確認します。

Cの解説：

株式による資金調達が自己資本であるのに対し、社債は他人資本（借金）になります。

設問2の解答と解説： A、B、A、B

債券と株式の違いに、おおまかに触れます。選択肢は比較しやすいと思われ、どちらかが債券か株式だという見当をつけながら進められそうです。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1：A 2：C 3：B

[解説]

1：社債を発行するということは、投資家から借金をするということですので、返済と利子の支払いが発生します。また、返済には期限もあります。

2：新たに株式が増えるわけですから、株主の数も増える傾向にあります。よってまずBは不正解。株式・株主が増える分、配当も増えるという考えが基本でしょう。税率に影響はありません。

3：配当は経費として認められませんが、社債の利子は会社の経費となります。

### 【自己診断シート】

利回りの計算を伴う学習に入る前に、主要な語句を確認しておきます。

Aの解説：

資産形成の手段として、債券が売買されていることを確認します。

Bの解説：

利率に比べると難度が高いため、設問でも「聞いたことがあるか」という問いにしています。

Cの解説：

広義では「利子率、利率、利回り、割引率」などを含めて指す金利について、コンテンツでは“世の中の金利”という意味で使います。

設問2の解答：

複雑な利回りの計算の学習の前に、利率の考え方を確認しておきます。計算は「 $3 \div 100 = 0.03$ 」よって3%です。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : B    2 : C    3 : B

[解説]

1 : 債券は株式と同じく、市場では価格が変動し、時価で売買されています。債券の価格は、その時々の中の中の金利などの影響を受けて、日々変わります。そのため、買ったときより安い価格で売ることになれば、損をしてしまう場合もあります。

2 : 債券のように価格が変動するものの場合、元本の増減も加味して収益性を測らなくてはなりません。利回りは債券の収益性を測るモノサシとなります。

3 : 債券の価格と金利は逆の動きをします。つまり、世の中の金利が上がれば債券価格は下がり、世の中の金利が下がれば債券価格は上がります。

### 【自己診断シート】

ライフプランといっても遠い将来の話ではなく、まずは今、自分自身が親によって養われ、親はお金のやりくりをしていることに気付かせる必要があります。このコンテンツでは、自立した生活者となるためには、ライフプランやお金のことを考える必要があることに気付かせます。また、資産形成におけるリスクとリターンについても学習します。

Aの解説：

日々のお小遣いや、欲しいものを買ってもらうだけでなく、自分の普段の生活自体にお金がかかっていることを気付かせます。「生きて行くことにはお金がかかる」ことを理解させ、ライフプランを考える入口とします。

Bの解説：

ライフプランを考えることは、一定の目標地点を置き、そこへどうつなげればいいのかプロセスを考えることでもあります。「どんな自分になりたいか」を目標として捉えさせて次の問いへつなげます。

Cの解説：

進学・就職・結婚・出産・マイホームの購入などのライフイベントを大まかに考えさせ、その実現にはある程度まとまったお金が必要であることを意識させるのが目的です。

Dの解説：

リスクについて学ぶ前に、用語の確認をします。金融商品におけるリスクとは「危険」という意味ではなく、将来得られる結果のばらつき具合（不確実性）を意味します。

設問2の解答：

生徒が自分のお金の貯め方や使い方を再認識し、本コンテンツへの興味関心を持たせます。

---

### 【確認テスト】

[解答] 1 : A    2 : C    3 : C

[解説]

1 : 自分の将来について漠然とではなく、自分がどんな人生を送りたいか、夢の実現のためにどうすればいいかということを考えることが、ライフプランの第一歩です。

2 : 「貯蓄」は、安全・確実にお金を「貯める」ことに重点が置かれています。「投資」は、お金を「ふやす」ことに重点を置いています。株式投資は収益性は高いですが、価格が変動するため、大きく資産がふえることが期待できる反面、大きく減る可能性も高くなります。

3 : 株式はハイリスク・ハイリターンの金融商品です。預貯金はローリスク・ローリターンとなり、債券は満期まで保有すれば元本を受け取れますが、価格は変動するため、預貯金よりもリスク・リターンが上に位置付けられます。なお、ローリスク・ハイリターンの金融商品というものはありません。

### 【自己診断シート】

本コンテンツでは資産形成の具体的な手段（金融商品）について学びます。設問1は、預貯金や株式投資を取り上げて、貯蓄や投資についての関心を高めさせます。設問2では金融商品の特征に触れています。

Aの解説：

「資産形成とは」で学んだ、リスクとリターンについて確認します。高いリターンを望むのであれば、リスクも高くなり、リスクを低く抑えたいのであれば、高いリターンは得られません。

Bの解説：

預貯金、債券、株式などの金融商品の名前を挙げさせるための設問です。

Cの解説：

データはコンテンツ内で紹介しています。日本人の貯蓄率は以前に比べて低下していますが、金融資産の半分以上が現金や預貯金なのは長い間変化しておらず、アメリカの貯蓄構成とはかなり異なっています。

設問2の解答と解説：

〔解答例〕 (1) A、(2) B、(3) A、(4) A

本コンテンツの学習前に、金融商品の中から「預貯金と株式」の特征について、簡単におさらいします。

設問のうち、(3)については普通預金の場合はいつでもお金に換えられますが、定期預金は、すぐに現金を引き出せない場合もあります。

---

### 【確認テスト】

〔解答〕 1 : C    2 : C    3 : B

〔解説〕

1 : あまり取引されていない会社の株式などは、売却しようとしても買い手がなかなか見つからない場合もありますので、会社（銘柄）選びには注意が必要です。

2 : 投資信託とは、投資家からの小口のお金をまとめて、運用の専門家（ファンドマネージャー）が複数の株式や債券などに投資し、成果を投資家に分配する仕組みです。投資信託は安全性を重視するもの、収益性を重視するものなど、さまざまな種類があり、全て安全性が高いわけではありません。

3 : 新聞には公開（上場）している会社の株価が毎日掲載されます。そのほかインターネットの検索サイトでも株価などの情報を得ることができます。